

# JSエコニュース

発行: JS環境委員会

## 品質/環境マネジメントシステム 現地審査が実施される

品質：第4回定期審査  
環境：第4回再認証審査  
今回は審査機関をエイエスアール(株)に変更し、11/2～3(J1)、11/21(本社)で現地審査が3日間にわたり行われました。審査において9つの指摘事項と2つのグッドポイントが示されました。

### 環境

- ①労働安全衛生では作業者の安全教育の見直し
  - ②MS文書管理面で外部文書の整理管理の見直し
  - ③環境影響評価実施の上での改善点
  - ④供給者実態評価表での「法的要求事項」の再確認が指摘された
  - ⑤内部監査において改善課題・原因追及・処置結果などは正処置を適確に行うため運用方法の改善が必要
- 品質の指摘は4件でした。

### グッドポイントでは

生産事業本部：「経営方針」及び「品質・環境方針」の基、中長期戦略として現場文化構築（一人ひとりが主役・キーワードを設定）

本社：四半期ごとに社長を交え環境委員会を開催、実績評価の確認を行う。経営トップの方針が、活動責任者及び社員に浸透していることが、MS運用面で観察できた。また「本社J1環境委員会」活動の取り組みと「JSエコニュース」の発刊について評価を頂きました。

## 定期審査(QMS)再認証審査(EMS)無事に認証取得

この認証を得て、新たな審査機関でのマークが表示される事になります。名刺・各種文書類の表示が変更になります。(右下のASRマーク参照)

## グリーン基準改定 日印産連GP事務局

### 1)用紙の基準改定

現行のグリーン購入法、エコマークの各基準との整合を図り、実態に合わせた改定を行いました。実施日2011年6月1日(日印産連グリーン基準参照)

### 2)デジタル印刷基準の追加

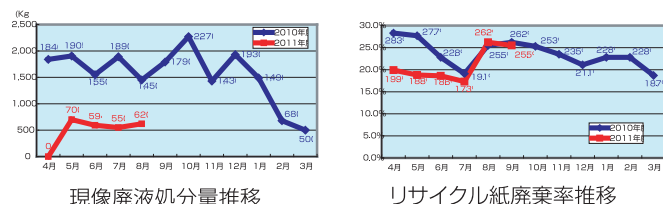
急速に導入が進んでいるデジタル印刷、資材と工程のグリーン基準を定めました。認定を受けると、デジタル印刷物にGPマークが表示できるようになります。

実施日2011年12月1日

### 3)刷版工程の基準改定

刷版の現像システムの環境負荷低減の取り組みについて、GP資機材認定制度とリンクした環境配慮型現像機、プレート・現像液の使用が基準化されました。

実施日2012年3月1日



基準改定項目における排出の推移2010/4～2011/8まで

## エコプロダクツ2011 東京ビックサイト



12月15、16、17日に開催されます。  
開催に向けての主催者のメッセージです。

日本のエネルギー政策は大きな転換を迫られています。企業は、短期的には節電対策に有効なソリューションを、長期的には再生可能エネルギーへの転換やエネルギーの効率的な活用、そしてそれに合わせたビジネスモデルの再構築が課題となっています。これらの変化は私達にとって大きなチャレンジです。

これまでの発想を転換した環境の新しいビジョンを提示する絶好の機会と捉えることもできます。どの様な環境ビジネスを実践し、社会システムを構築してゆくか「エコプロダクツ2011」は、これらの問題解決に役立つよい契機と考えます。

今年のテーマは「Green For All, All For Green 日本発！エコの力で明日を変える」 エコはみんなのために、すべてはエコのためにエコプロダクツ2011が「みんなの力で復興」へつながる様に努力しよう。



J1から環境委員会メンバーが会場を訪れ、GP認定制度出展模様などを取材する予定です

## JS環境委員会短信

早いもので12月1日号を発刊することになりました。来月は新年増刊号を予定しております。新台導入に合わせたJ1ファクトリーの新春の様子をお届けする企画を考えています。

J1 環境委員会メンバー2011

委員長：鈴木淳

委員：岩本吉文 井鍋貴博 平山昌彦  
澤木尚次 畑温之 神戸康宏

事務局：久保野正美

